

栃木県 高校入試情報

令和7年度栃木県入試の全体傾向

●令和7年度入試の大問構成

- 大問1 漢字
大問2 論説文 今野真二「日本語と漢字」
大問2 論説文 加藤徹「漢文の素養」
大問3 小説 君嶋彼方「春のほとりで」
大問4 古文・話し合い 「耳囊」
大問5 話し合い・言語事項・作文 文化庁「令和五年度 文化に関する世論調査」

例年同様の入試5題の構成。昨年に続き大問5で、国語の知識と課題作文が出題された。漢字の読み書きとともに、熟語や文法などの基礎知識の強化が求められる。

★栃木県の入試は、『国語の新研究』でバッチリ！

■古文の問題の対策

例年、古典は独立した大問として出題されている。今年度は古文が出題されたが、生徒の会話文中に漢文の訓読の問題が含まれた。難易度は比較的平易で取り組みやすいため、取りこぼさないよう確実にしておきたい。

新研究で対策！

- ウォームアップ特集「はじめよう！古文」(p. 80～81)では、古文の問題を解く際に勘違いしやすい部分を再確認できます。
●フォロー特集「古文のかなづかい・重要古語の徹底練習」(p. 104～p. 105)や「古文プラス問題」(p. 114～115)で、苦手になりがちな古文の問題を手厚く対策できます。

■文章記述問題の対策

本年度も記述問題が多く出題された。いずれも15字から60字と字数が多いため、誤字をなくし、時間配分に気をつけて解く必要がある。記述に必要な要素を捉え、簡潔にまとめる練習に取り組みたい。

新研究で対策！

- 巻頭特集「国語のキホン」(p. 2～5)や、ウォームアップ特集「記号選択・記述問題のキホン」(p. 26～27)では、文章記述問題の解き方・考え方を、一から丁寧に解説しています。
●「解説・解答集」では、丁寧にわかりやすい採点基準で、文章記述問題の自己採点がしやすくなっています。

令和7年度栃木県入試では、語句の知識を問う問題が出題されました。慣用句や熟語などの知識事項をおさえておきましょう！



★栃木県入試出題内容別・形式別傾向分析(過去4年間)

		単元名／項目	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
出題内容別の傾向	漢語句	漢字を学ぼう	●	●	●	●
		熟語を学ぼう	●	●	●	●
		語句を学ぼう		●	●	
	現代文	文脈で語句の意味を考えよう	●	●		●
		展開をとらえよう	●	●		
		心情をとらえよう	●	●	●	●
		行動の理由・人物像をとらえよう	●	●	●	●
		文章中の表現を味わおう				●
		話題・情報をとらえよう	●	●	●	●
		指示語・接続語をとらえよう	●	●	●	●
		文章を解釈しよう	●		●	●
		理由をとらえよう	●			●
		段落構成をとらえよう	●	●		
		要旨をとらえよう	●	●	●	●
		古典	古文のかなづかい・古語を学ぼう	●	●	●
	古文の会話・主語をとらえよう		●			
	古文の展開をとらえよう		●	●	●	●
	漢文・漢詩を味わおう					●
	詩歌	詩・短歌を味わおう				
		和歌・俳句を味わおう	●	●	●	
	文法	文の組み立てを知ろう	●			
		自立語を学ぼう		●	●	●
		付属語を学ぼう	●			
	表現・情報	敬語を使いこなそう	●	●		●
		グラフ・図表をとらえよう			●	●
		話し合いをとらえよう			●	●
		伝え方の工夫を学ぼう				
		課題作文を書こう	●	●	●	●
		★聞き取り問題				
別の出題傾向	大問数	5	5	5	5	
	小問数	33	33	33	33	
	記号解答	14	15	14	16	
	記述式解答(漢字の読み書きも含む)	19	18	19	17	

★新研究で出題した栃木県の入試問題(令和7年度)

- p. 47 文学的文章